



風薫る

北野中学校 学校だより
臨時号
令和8年2月25日 発行
〒004-0862 北野2条3丁目7-30
TEL882-0754 FAX882-2897
<https://kitano-j.sapporo-c.ed.jp>

◆令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について◆

大変ご報告が遅くなりましたが、4月17日(木)に3年生対象に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果をまとめましたのでお知らせします。

なお、報告様式については札幌市教育委員会の指導の下、次のような表現で表しています。

記号の意味：全国平均と比較して

- △：+3. 1ポイント以上 → 「上回っている」
- ◇：+3. 0ポイント以内 → 「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- ：全国平均と同じ → 「ほぼ同程度」
- ◆：-3. 0ポイント以内 → 「ほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- ▼：-3. 1ポイント以上 → 「下回っている」

【中学校国語】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要（平均正答率）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「話すこと・聞くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「書くこと」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「読むこと」 △全国平均を上回っている。</p> <p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<p>●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</p> <p>●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。</p> <p>●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。</p> <p>●行書の特徴を理解している。</p>	<p>○話し手、聞き手が話題や質問の意図を意識しながらその経過を捉え、話したり聞いたりする学習活動の充実。</p> <p>○聞き手の立場に立って具体的な視点を得られるように文章を整える学習活動の充実。</p> <p>○場面の登場人物の行動や心情などの変化を整理しながら丁寧に捉える学習活動の充実。</p> <p>○日常生活や社会生活の中で使われる文字に関心を持ち、字の形やバランスについて意識して用いる活動の充実。</p>

【中学校数学】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要（平均正答率）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の領域】</p> <p>□「数と式」 △全国平均を上回っている。</p> <p>□「図形」 △全国平均を上回っている。</p> <p>□「関数」 △全国平均を上回っている。</p> <p>□「データの活用」 △全国平均を上回っている。</p>	<p>●素数の意味を正しく理解していること。</p> <p>●多角形の外角の意味を理解すること。</p> <p>●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</p> <p>●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p>	<p>○問題文の意味を明確に捉え解釈し、数学的な知識を利用して立式をすることができる学習活動の充実。</p> <p>○図形の性質を論理的に考察し表現するために、場合に分けて考えることができるような学習活動の充実。</p> <p>○問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」の両方を指摘し、的確に説明できる学習活動の充実。</p> <p>○データの分布の傾向を捉える場面を設定し、目的に応じて箱ひげ図の四分位範囲に着目して、必要な情報を読みとることができる学習活動の充実。</p>

【中学校理科】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要（平均正答率）	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【学習指導要領の領域】</p> <p>□ 「エネルギー」を柱とする領域 △全国平均を上回っている。</p> <p>□ 「粒子」を柱とする領域 △全国平均を上回っている。</p> <p>□ 「生命」を柱とする領域 △全国平均を上回っている。</p> <p>□ 「地球」を柱とする領域 △全国平均を上回っている。</p>	<p>● 電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いている。</p> <p>● ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識および技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できる。</p> <p>● 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いている。</p> <p>● 地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できる。</p>	<p>○生活経験と結び付け電気エネルギーが熱エネルギーに変換される仕組みへの関心を高める授業の展開。</p> <p>○単なる知識暗記ではなく、データと現象を結びつける思考過程を重視し、視覚化の活用と言語化活動を取り入れた授業の展開。</p> <p>○生物はすべて呼吸をしていることを理解させ、呼吸は「生命を維持するための働き」であると概念化できる授業の展開。</p> <p>○粒の大きさ → すき間 → 水の動き → 地層の働きという一連の関係をつなげて考えさせる授業の展開。</p>

【質問紙調査の分析】

調査の内容は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する70の質問項目に答えるというものでした。本校の各質問の結果を全国平均と比較して、違いが顕著に見られる内容をまとめてみました。

【全国平均に比べて、肯定的な回答の割合が高いもの】（全国との差）

- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
（+9.5ポイント）
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
（+6.4ポイント）
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
（+5.8ポイント）
- ・国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか
（+5.8ポイント）

【全国平均に比べて、肯定的な回答の割合が低いもの】（全国との差）

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
（-8.8ポイント）
- ・将来の夢や目標を持っていますか
（-10.2ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
（-49ポイント）
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
（-10.7ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか
（-11.7ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか
（-11.2ポイント）

【総括…今後の課題として取り組むこと】

- ・学習面 小学校と中学校ではICT活用状況に大きな開きがみられる。教科の特性や内容の面からすべての授業での活用は難しいが、可能な限り1人1台端末を活用した授業づくりを推進していく。
英語では言語活動の強化を図り、ALTとの連携をさらに進めていく。
教科と日常生活とのつながりを意識できるような授業展開を行い、将来の夢や展望が持てるよう指導していく。
- ・生活面 コロナ禍が明けてもTV、各種ゲーム機器、スマートフォンを利用する時間が全国と比較して多いという数値が出た。動画配信サービスやSNSに依存することが無いよう学校、家庭が連携して使い方についての指導していく必要がある。